



# 協会報

2019

発行日 毎月1日 通算発行 393号

1



新春を迎えて—『平成31年新年あいさつ』  
(一社)石川県建設業協会長 吉光武志

新春ご挨拶

亥年は語る



写真提供 / KAGA旅・まちネット

柴山潟から見る白山の日の出 < 加賀市 >

加賀市北部に位置する柴山潟は、時間や天候の移ろいにより、一日に何度も湖面の色を変えるとされている。古くから白山の姿・形が美しく映える湖として知られ、柴山潟を白山とともに描いた絵画や写真は多い。明治から昭和にかけて、かつての広さの約4分の3が干拓され、湖畔には片山津温泉が整備された。平成に入ると浮御堂や高さ70mの大噴水などが設置され、柴山潟の新たな魅力を生み出している。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

**石川県建設業協会**

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号  
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

# CONTENTS

2019

1



柴山瀧から見る白山の日の出  
<加賀市>

1	新春を迎えて	
	『平成31年新年あいさつ』（一社）石川県建設業協会長 吉光武志	2
2	新春ご挨拶	
	石川県知事 谷本正憲	3
	国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 山田哲也	4
	厚生労働省石川労働局長 松竹泰男	4
	一般社団法人全国建設業協会長 近藤晴貞	4
3	亥年は語る	
	二俣 馨、寺井 誠、橘 裕之	5
4	今月のトピックス	
	谷本知事を囲む懇談会の開催	7
5	雇用改善コーナー	
	石川県立羽咋工業高校生との意見交換会の開催	9
	金沢市立工業高校生との意見交換会の開催	9
	石川県立小松工業高校生との意見交換会の開催	10
	金沢市立工業高校インターンシップ感想文	10
6	地区協会コーナー	
	手取川七ヶ用水ボランティア 「世界かんがい施設遺産を学ぶヒストリーツアー」に協力 （一社）白山野々市建設業協会	13
7	会員リレーコーナー	
	181 株式会社 松陽建設	14
8	今月の「輝き！」さん No.46	
	真柄建設株式会社 北村翔吾さん	15
9	協会だより	
	（一社）石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催	16
	災害支援功労者感謝状贈呈式（北陸地方整備局）	17
	委員会の開催	17
	土木委員会	
	工事現地検討会班長会議（後期）の開催	17
	第3回役員会の開催	17
	建築委員会	
	金沢地区安全パトロールの開催	18
	土地改良委員会	
	石川県農林総合事務所への施策提案	18
	建設青年委員会	
	全国建設青年会議第23回全国大会への参加	19
10	石川県土木施工管理技士会だより	
	第2回役員会の開催	20
11	業界時報	
	労働災害発生状況	21
	平成30年度 建設工事受注高調（元請）	21
	最低賃金改正のお知らせ	22
12	会員消息	23
13	県協会からのお知らせ	23
14	地区協会からのお知らせ	24
15	関係機関からのお知らせ	25

## 新春ご挨拶



### 『個性、交流、安心の進化に向けて』

石川県知事 谷本正憲

新年明けましておめでとうございます。

平成31年の年頭にあたり、県民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年は、新幹線開業効果が多方面に持続し、経済状況も好調に推移するなど、かつてない勢いのある1年でした。

本年は、天皇陛下の御退位と皇太子殿下の御即位が行われる歴史の大きな節目であり、本県においても、来年の東京オリンピック・パラリンピックや、4年後の新幹線敦賀延伸など、今の勢いを持続・拡大させる千載一遇のチャンスを最大限に生かし、石川の魅力を国内外に発信していく極めて重要な年になると考えています。

そのため、新幹線の県内全線開業に向けて、官民一体で取り組む新たなアクションプランを年度内に策定するとともに、質の高い文化、ものづくり企業や高等教育機関の集積、豊かな自然など石川の個性に磨きをかけ、発信してまいります。

東京国立近代美術館工芸館については、2019年秋の建物完成に向けて整備を進めてまいります。金沢城公園については、鼠多門・鼠多門橋の整備を進めるとともに、二の丸御殿の復元可能性について検討を進めます。

新県立図書館については、引き続き、文化立県・石川の「新たな知の殿堂」に相応しい図書館となるよう整備を進めてまいります。

中小企業振興については、「中小企業チャレンジ応援ファンド」による新商品開発などへの支援、AI・IoT導入による生産性向上への支援のほか、UIターンや学生の県内就職の促進など幅広い観点から人手不足対策にも取り組んでまいります。

農林水産業については、農産物のブランド化や製造業ノウハウを活かした生産の効率化により、付加価値や収益性の向上を図ってまいります。

北陸新幹線については、今後も2022年度末までの確実な敦賀開業、2030年度末の北海道新幹線札幌開業頃までの、大阪までのフル規格による全線整備について、沿線地域と連携して取り組んでまいります。

道路網については、県内各地の幹線道路ネットワーク整備を進めてまいります。

金沢港については、2019年度中の完成に向けて、機能強化整備をしっかりと仕上げるとともに、横浜港との協定に基づき、クルーズの誘致を更に進めてまいります。

小松空港については、国際便が好調で、香港定期便の就航も見込まれています。のと里山空港についても、利用者数は過去最高、搭乗率も開港1年目に次いで2番目となりました。今後とも利用促進に取り組んでまいります。

昨年各地で頻発した災害を踏まえ、治水対策などの防災・減災対策、防災士の育成などの地域防災力の向上にも一層取り組んでまいります。

医療提供体制の確保については、新県立中央病院やドクターヘリ運航による高度専門医療・救急医療の充実強化に努めてまいります。

教育については、児童の学力・体力の向上に向けた取り組みを行うとともに、教員の資質向上を図り、教育水準の維持に努めてまいります。

新年を迎え、旧年にも増して県政に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



明けまして  
おめでとう  
ございます



国土交通省  
北陸地方整備局  
金沢河川国道事務所長

**山田 哲也**

謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
本年も、石川県内の治水系と道路の直轄事業を推進するとともに、建設産業の担い手確保、生産性向上に全力で取り組んでまいります。引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



厚生労働省  
石川労働局長

**松竹 泰男**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
本年4月から、働き方改革関連法が順次施行されます。石川労働局では、働き方改革の推進のため、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進等に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。  
貴会の益々のご発展と会員各位のご健勝・ご繁栄を心からご祈念申し上げます。



一般社団法人  
全国建設業協会 会長

**近藤 晴貞**

平成31年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、改めて厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月の北陸地方西部を中心とする、1981年の『五六豪雪』以来37年ぶりの記録的な大雪に始まり、4月の「島根県西部地震」、6月の「大阪府北部地震」、7月の西日本を中心とする「平成30年7月豪雨災害」、そして、8月には東日本における「統計開始以来の猛暑」、さらに9月の台風21号等の襲来や「平成30年北海道胆振東部地震」と、例年以上に全国各地で自然の猛威・災害が頻発化した1年でした。こうした年々激甚化する自然災害は、改めて、防災・減災対策が最優先かつ喫緊の課題との認識を共有させ、さらなる強靱な国土づくりへの計画的かつ着実な進化を強く求められているところであります。

そうした中、建設業界におきましては、公共工事設計労務単価が6年連続で引き上げられ、予算ベースで全体として見れば安定的に推移している状況であるものの、建設投資の偏りは依然として解消されず、首都圏と地方圏との事業量の地域間格差や大企業と中小建設業との企業間格差が近時一層拡大し、地域の建設企業の多くが厳しい経営環境を強いられている状況であります。また、本年4月から施行される改正労働基準法等の働き方改革関連法では、労働時間に関する制度の見直し等が行われることになり、経営環境も大きく変化することが予想されております。

法改正に伴う時間外労働の罰則付き上限規制適用は、建設業界におきましては、5年間猶予されることとなりましたが、長時間労働は正を含めた「賃金・休日等の労働条件の改善」、「女性等の多様な人材が活躍できる環境整備」、更には「建設生産プロセス全体を通じた生産性の向上」といった働き方改革は、担い手の確保・育成に向け、欠かすことができない重要な取組みの一つとなっております。

私ども地域建設業には、「地域インフラの担い手」、「災害時などの緊急時の公的な任務の担い手」、「地域の成長エンジン」といった社会的使命が期待されております。そうした期待に、将来に亘って応え続けるには、私ども自らが、積極的に働き方改革を含めた様々な施策を推進し、建設産業を魅力的な産



業へ変えていくことが大変重要なことであります。そのためには、地域建設企業の健全経営の裏付けとなる適正利潤の確保が必要であり、それには、事業量が安定的・持続的に確保されることが不可欠であることはご承知の通りであります。

平成30年度は、関係者の皆様の御支援を得て、私共が強く求めていた大型補正予算が2次にわたって編成され、第2次補正予算は、来年度の当初予算とともに、今月召集の通常国会で審議の予定となっております。予算につきましては、一日も早い成立に加え、執行に当たり、地域の実情を十分に踏まえた重点的な予算配分をお願いするところであります。

また、今月召集の通常国会では、適正利潤の確

保を謳った改正品確法等の担い手3法の改正も予定されていると承知しています。

新たな法制度につきましては、適切に運用され、全国津々浦々にまで、ご理解頂くには、常に、声を上げ続けていくことが重要であると強く感じているところであります。

本年も、全建は、47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方をはじめ、関係各位と一致団結し、積極果敢に、課題解決に取り組む覚悟でございますので、引き続き、ご理解ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして私の年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 亥年は語る



### 二俣 馨 (昭和22年7月19日生)

株式会社 新出組 専務取締役

新年あけましておめでとうございます。

今年の七月で六回目の年男となりますが？まったく自覚がありません、年月って早いもんだな~との思いがあります。

今回原稿の依頼をいただき、あらためてそんな歳になったんだと思う今日この頃です。

振り返りたくは無いけど、今迄「山あり・谷あり」で色々な事が走馬灯の様に浮んで来ます。その度に沢山の人の出逢いが有り、皆さんに叱咤激励をいただき、それが今の私の大きな財産であり、今迄出逢えた皆さんに感謝の気持で一杯です。...の一言で過去をひとまとめにしました。

これからは先人から受けた恩返しのためにも、会社はもちろん、業界の発展にも微力ながら貢献出来たらと思っております。

自分の事では写真を添付しましたが、良き人生の大先輩に見習ってゴルフでの「エージシュート」を目指して日々精進したいと思っております。

最後になりますが、業界の皆様方の繁栄と、ご発展を心より祈念し、この度の原稿依頼に対するお礼とさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



(本人：左)

## 寺井 誠（昭和46年5月15日）

寺井建設株式会社 常務取締役

新年明けましておめでとうございます。

「一年の計は元旦にあり」と故事ことわざがあります。と  
言うことで、建設業について私なりの意見を語りたいと思  
います。

建設業とは「現在と未来を結ぶ未来産業」、「自然災害大  
国 日本における日本国土のお医者さん」や「地域の人々に理  
解される危機管理産業」などのスローガンが揚げられます。

地震災害時には地域の情報を一番良く知り、一番先に駆け  
つけ、自衛隊や消防隊・警察の方々が通行出来るように安全  
な道を確保します。降雪時には地域の皆さんが、通勤・通学  
を安全・安心して出来るように地域住民がまだ寝ている時  
より除雪作業を行います。地域の安全・安心を守るには建設  
業はなくてはならない産業です。でも業界人が自負してい  
ても地域の方々はなかなか理解されていない現状があると思  
います。

情報発信・伝承していくことの大切さを知りました。今建設  
業は担い手不足などの問題を抱え、生産性の向上やICTの活  
用など激動の変革時期であります。

環境の変化に適応して建設技術の継承を子どもや孫たち、  
まだ生まれて来ていない未来の人に行っていきたいと思  
います。



（本人：前列左から3人目）

## 橘 裕之（昭和58年8月1日生）

橘建設株式会社 常務取締役

明けましておめでとうございます。

平成最後の新春を迎え、時代の移り変わりを肌で感  
じながら日々成長を肝に銘じ邁進しております。

企業の力は「人」とであると強く信じます。近年よく人  
手不足だと言われており、どの業界どの会社も大変な時代  
に入ってきたと感じております。そんな中、弊社は私（亥  
年36歳）の12歳上には40代の部長がいて12歳下には20  
代のエースがいる時間軸の通った環境であることを幸せに、  
そして誇りに思います。人材に余裕があるわけではありませ  
んが、人数は少なくともそれぞれが役目を十分理解し機能す  
ることで大企業にはないキラリと光った魅力を持っていると  
確信しております。

新入社員から参与を含め三世代企業であることの強みを  
最大限に発揮し、石川県の発展に寄与出来る様に今年も精  
一杯がんばりますので、どうぞ宜しくお願い致します。身近  
な目標として、とりあえずはダイエットに邁進いたします。



社員旅行（本人：左端）

## ◆ 今月のトピックス ◆

### 谷本知事を囲む懇談会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、12月19日(水)午後3時30分から金沢ニューグランドホテルにおいて吉光会長以下役員49名と共に谷本正憲石川県知事ほか、板屋土木部長ら4名の幹部を交えた懇談会を開催した。

冒頭、吉光会長は、「防災・減災対策、国土強靱化、インフラ老朽化対策の促進は喫緊の課題であり、地域の守り手として、地域建設産業の果たす役割はこれまで以上に大きくなるものと考えている。建設産業の現下の課題は働き方改革と生産性向上であり、協会としても、休日の確保など就労環境の改善やICTの導入など、若者に魅力ある産業となるよう鋭意取り組んでいる。こうした取り組みを推進するためには、安定的、継続的な公共事業予算が不可欠でありご理解とご高配を賜りたい。」と挨拶。続いて谷本知事は、「社会資本整備は県民生活の利便性向上を図り、安全・安心を確保するために不可欠。昨今の災害発生状況から、安全・安心の要としての公共事業、社会資本整備の必要性を実感している。国からは、今後3年間で3兆円規模の国土強靱化のための社会資本整備を行うことが示された。県としても、事前防災対策としての公共事業をしっかりと行って参りたい。」と挨拶。

引き続き要望懇談に入り、協会側を代表し山岸専務理事が要望書に基づき、公共事業予算の継続的・安定的な確保、改正品確法運用指針の着実な執行、予定価格の適正な設定と適時・適切な設計変更など8項目について要望を行った他、各地区の協会長がそれぞれの地域が持つ重点的な要望事項について説明を行い土木部幹部がこれに答える形で懇談会は終了した。

なお、県協会の要望、地区協会の要望一覧及び懇談会での石川県側の出席者については、次の通り。

#### 石川県建設業協会の要望書

##### 要 望 書

平素より本県建設産業の振興発展に格段のご理解ご尽力をいただき、また、当協会に対しご指導ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本県の公共投資については、当初予算と6月補正予算を合わせて、平成20年以來10年ぶりとなる1千億円を超える事業費の確保に加え、9月補正、12月補正と積極的な公共予算を盛り込んでいただきました。心より敬意と感謝を申し上げます。今後、金沢港、加賀海浜産業道路やのと里山海道の四車



懇談会会場



谷本知事及び県幹部

線化など本県発展の要となるインフラ整備の大幅な進捗を期待するものです。

また、労務単価の引き上げをはじめ改正品確法運用指針の指導・強化により、着実に入札契約制度の改善が図られてきています。県ご当局のご高配とご尽力に改めて感謝申し上げます。

さて、地方の建設産業は、災害や除雪など、県民の安全・安心の確保や地域社会を維持していくため地域の経済や雇を支える大きな役割を担ってきました。

近年、全国的にも地震、台風、豪雨災害など自然災害が頻発する中、防災・減災対策、国土強靱化を進める「地域の守り手」として、また、高度経済成長期に集中して作られた道路や橋梁の老朽化対策の唯一の担い手として、地域建設産業の果たす役割はこれまで以上に大きくなるものと思われます。

一方で、建設産業界では休日の確保など就労環境の改善や生産性向上を図るためのICTの導入・推進など若者に魅力ある産業となるよう鋭意取り組んでいるところであります。

今後とも行政とのパートナーシップのもと、相互連携・協力し、社会インフラの整備と維持管理を通して社会的任務を果たしていく所存でありますので、県におかれましては、公共事業予算の継続的・安定的な確保と、適正な利益を確保できるような入札契約制度の改善に向けて、以下の事項について格段のご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 公共事業予算の継続的・安定的な確保
2. 改正品確法運用指針の着実な執行
  - (1) 予定価格の適正な設定と適時・適切な設計変更
  - (2) 工事発注及び施工時期の平準化
  - (3) 最低制限価格の上限撤廃と更なる引き上げ
3. 安心して災害活動を行うための災害協定の見直し
4. 週休二日制の導入に向けた環境整備
5. ICT活用工事を推進するための取り組みの充実
6. 地元建設業者の受注機会の確保
7. 新幹線建設工事に地元企業の参加と関連工事を県市町が受託工事として発注
8. 除雪体制を維持するための支援拡充

平成30年12月19日

石川県知事

谷 本 正 憲 殿

一般社団法人 石川県建設業協会  
 会 長 吉 光 武 志

地区協会要望事項一覧

【金沢建設業協会】

世界の交流拠点都市金沢の早期具現化  
 建設業働き方改革に向けた女性活躍の推進  
 建設発生土の再利用の促進

【加賀建設業協会】

国道8号加賀拡幅工事及び福井県境部の整備促進について  
 大聖寺・加賀温泉駅間道路(大聖寺道路)の整備促進について  
 南加賀道路の整備促進及び加賀インター線の冬季交通の安全確保について

動橋川河川改修事業の整備促進について  
 柴山漏周辺片山津温泉地域の浸水対策の整備促進について  
 二級河川の適正な維持管理について

主要地方道小松山中線の整備促進について  
 小松白川連絡道路(国道360号)の早期事業化について

【小松能美建設業協会】

梯川河川改修の整備促進について  
 国道305号の梯川・小松新橋の早期架け替えと4車線化について  
 木場漏公園東園地の整備促進について  
 金沢港と南加賀地域を結ぶ海岸沿いの「加賀海浜産業道路」の整備促進について  
 能美東西連絡道路の整備促進について

川北縦貫道路の整備促進について

国道416号の安全対策の構築について

小松白川連絡道路(国道360号)の早期事業化について

【白山野々市建設業協会】

地域振興と暮らしを支える社会資本整備の促進について  
 安全・安心の確保に向けた防災基盤の充実について

【河北郡市土建協同組合】

「(宇ノ気内灘～高松七塚海岸)の浸食対策」について

「かほく東西幹線道路」の整備促進等及び延伸工事について

「かほく市東西間横断アクセス道路」の整備促進について

「一般県道高松・内灘線(内灘町白帆台地内～かほく市白尾地内まで) (かほく市七塚生涯学習センター～かほく市木津地内まで)」の道路整備促進について

「大野川右岸」の堤防整備促進について

「主要地方道松任宇ノ気線(内灘町宮坂地内宮坂交差点～西荒屋小学校手前まで)」に於ける消雪設備の工事促進について

「一般県道瓜生・能瀬線の道路整備」及び「二級河川能瀬川の河川改修」促進等について(津幡町上矢田地内～中山地内まで)

「主要地方道高松津幡線(津幡町加茂地内～JR本津幡踏切) (津幡町加賀爪交差点～太田 津幡町太田南交差点)」における消雪設備の工事促進について

「興津残土処理場」の活用促進について

【羽咋郡市建設業協会】

「のと里山海道」4車線化の整備促進

国道249号直海荒屋道路2期区間(豊後名～荒屋)の整備促進  
 国道415号(宝達志水町杉野屋～羽咋市神子原町県境)改築工事の促進と新規事業化

押水羽咋海岸(千里浜海岸)の侵食対策の促進

二級河川宝達川の改修及び新規事業化

【七尾鹿島建設業協会】

平成30年発生災害復旧工事の早期完了について

道路整備の促進について

河川改修及び砂防事業の促進について

七尾湾の整備促進について

【鳳輪建設業協会】

広域交流幹線軸道路網の整備促進について

地域振興と暮らしを支える道路整備の促進について

砂防・地すべり・急傾斜地崩壊対策事業の整備促進について

港湾・漁港の整備促進について

二級河川の適正な維持管理について

越波対策並びに海岸浸食対策について

【珠洲建設業協会】

地域振興と暮らしを支える道路整備の促進について(珠洲市管内)  
 地域振興と暮らしを支える道路整備の促進について(旧内浦町管内)

河川改修と海岸保全施設の整備促進について

津波対策の支援について

石川県出席者

石 川 県 知 事	谷 本 正 憲
石 川 県 土 木 部 長	板 屋 英 治
石 川 県 技 監	竹 俣 隆 一
石 川 県 参 事	畝 本 秀 一
石川県土木部監理課長	柚 森 直 弘



## 雇用改善コーナー

### 石川県立羽咋工業高校生との意見交換会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、(一社)羽咋郡市建設業協会(会長 小倉 淳)(一社)七尾鹿島建設業協会(会長 田村行利)と合同で、12月7日(金)に、石川県立羽咋工業高等学校を訪問し、同校建設造形科の1年生26名、2年生30名との意見交換会を開催した。

建設産業の若年人材の確保を目的とした同校との意見交換会は、継続的に行われており今年度で6回目の開催となった。県協会、羽咋郡市協会、七尾鹿島協会より17名が参加し、羽咋郡市協会及び七尾鹿島協会に所属する企業の経営者、若手社員、参加生徒が5つのグループに分かれ、グループごとに生徒と直接話し合う形式で行われた。

小倉建設(株)の小倉一夫社長が進行役となり、冒頭、「今日は建設業を理解していただくいい機会だと思っている。不安なことがあったらなんでも訊いてください」と挨拶した。

2年生との意見交換会では、寺井建設(株)の寺井 誠常務より、「入職してからの歩み」と題し、パワーポイントでの説明をいただき、その後、グループでの意見交換を実施した。続いて行われた1年生との意見交換会では、建設産業を紹介するDVDの上映、県協会の辻相談役より建設産業の役割等についての説明を行った後、2年生同様にグループでの意見交換を実施した。

意見交換は、生徒の質問や疑問に対し、「若いうちに資格を多く取っておけば自分のプラスになる」、「社会にでたらコミュニケーションがとても大事になる」などと協会側が丁寧に回答やアドバイスするなど、終始和やかに行われた。

最後に各グループの代表生徒より、「自分の興味や将来を考える良い機会になった」などと感想が述べられ閉会となった。



### 金沢市立工業高校生との意見交換会の開催

(一社)金沢建設業協会(会長 橋本和雄)は、12月13日(木)に金沢市立工業高等学校を訪問し、同校土木科2年生との意見交換会を開催した。

意見交換会は、建設業界全体で今後も技術者不足が続く中、若い世代に建設業の魅力を伝え、人材確保につなげる目的で金沢協会の青年委員会が主体となり開催している。会には青年委員会の他、金沢協会役員、県協会役員が出席した。

冒頭、梅谷基樹青年委員長が挨拶で、建設産業の役割・魅力について説明するとともに、地元会員企業への入職を呼び掛けた。

続いて、同校の昨年度の卒業生で株式会社豊蔵組の谷口真由氏が「仕事について」と題し、自身の1日の



仕事内容や職場環境についてパワーポイントを使って説明した。

その後、生徒は5つのグループに分かれ、青年委員会情報発信セクションのメンバーと意見交換を行った。生徒からは、「休日は?」「給料は?」「就職する際の会社の選び方は?」など多くの質問がなされ、青年委員会のメンバーが丁寧に回答するなど、活発な意見交換が行われた。

最後に、青年委員会情報発信セクションの北川吉博サブリーダーが挨拶し閉会となった。

## 石川県立小松工業高校生との意見交換会の開催

(一社)小松能美建設業協会(会長 堀 伸市)と(一社)加賀建設業協会(会長 田畑秀樹)は合同で12月18日(火)に県立小松工業高校を訪問し、同校生徒との意見交換会を開催した。

この日は、両協会役員、会員、会員企業に所属する若手職員、県協会役員が参加し、同校建設科の2年生37名と交流した。

はじめに、体育館にて小松能美建設業協会の堀会長が開会の挨拶を行い、4つのグループにわかれ、レーザー墨出し機を使っての測量体験 建設業におけるドローン活用の現状 安全管理について資料を使った建設現場の間違い探し パネルを使用したクイズ形式での工程管理の4つの体験をととして「品質管理」・「安全管理」・「工程管理」を生徒に学んでもらった。

続いて休憩を挟み実習室へ移動し、6つのグループにわかれ、各グループ毎に会員企業所属の若手職員らと意見交換を行った。意見交換では、生徒から数多くの質問が寄せられ、若手職員が自身の体験を基に丁寧に説明した。

最後に各グループの代表生徒が「除雪などの地域への社会貢献もしていて、自分もしたいと思った」などの感想を発表し、建設業の魅力や建設業への理解がより一層深まった様子だった。



## 金沢市立工業高校インターンシップ感想文

建築に対してより興味・関心を持つことができました

建築科2年 駒木翔太  
(受入企業 兼六建設株式会社)

五日間の就業体験で、学んだことや、感じたことは、3つあります。

1つ目は、現場で学んだことです。例えば、現場には、必ず安全通路を確保することで、人や物の行き来がしやすくなり、作業の効率を上げていると思いました。また、レッカー車で物を上げ下げする時には、

外にいる人がレッカー車の中にいる人に手などを使い、合図を出しながら物を上げ下げすることで、物の落下を防ぎ、傷つけないように配慮しながら作業していると感じました。外壁や天井を塗装する際に、吸込み止め、下塗り、中塗り、上塗りと、4回以上塗装することで最終的に色を安定させるということが分かりました。

2つ目は、多くの企業が共同して仕事していくための作業の大切さです。屋根のスレートを貼るときにどうしても寸法が合わなかった場合には、職長同士や現場監督同士が話し合い、目地の大きさを変える対応をしたそうです。何かあったとしても、解決するためにその場に適した知識を持つ人達とコミュニケーションをとり、解決していくことが大切だと感じました。

3つ目は、5S運動の大切さです。現場の中では、整理・整頓が徹底され、毎週金曜日には一斉清掃が行われているので清掃・清潔も徹底されていました。また、作業中も、きちんと作業スペースや道具置き場も決められているなど、完成に向けてみんなの気持ちを一つにしている大切な運動だと思いました。

就業体験を通して、学校では見たり聞いたり体感できないようなことを間近で体験することができ、より建築というものに対して興味や関心を持つことができました。

兼六建設の皆様ありがとうございました。

### 段取りの大切さを痛感しました

建築科2年 島田 尚  
(受入企業 みづほ工業株式会社)

私は、この5日間でとても多くのことを学ばせて頂くことができました。

1、2日目は、本社で積算・CAD、現場で木造住宅の見学・オートレベル・トランシットによる測量を体験させて頂きました。積算では、基礎のコンクリート量を求めるために図面から一つ一つ数字を拾って計算しました。こんな仕事があるのだと初めて知りました。木造住宅の現場では、窓枠の出っ張りなど詳細な部分は図面で表しきれないため、実際に現場で確認しなければいけない所があることを知りました。

3~5日目は、県央土木総合事務所等移転整備工事の現場で体験をさせて頂きました。丁度、鉄骨の耐火被覆のために岩綿を吹き付けている最中で、前まで何を吹き付けてあるのか知りませんでした。石を繊維状にした岩綿というものを使用していることを知りました。この建物には、水抜きパイプと呼ばれるものが多数設置されていて、その位置と数の確認をするために何度も同じ足場を行ったり来たりしました。うまく段取りを立てられていれば、もっと早く確認できていたと思うと、段取りの大切さを痛感しました。

この5日間の体験を通して、担当して頂いた現場監督さんが、いろいろな職人さんと楽しそうにコミュニケーションをとっている姿を見て、もともと職人になる道しか考えていっていませんでしたが、現場監督になる道も考えてみようと思うようになりました。

5日間私たちのお世話をして頂いたみづほ工業の皆様、本当にありがとうございました。

### 現場監督さんの姿が輝いて見えました

建築科2年 松岡胡琳  
(受入企業 株式会社豊蔵組)

この五日間で、多くのことを学び、印象に残ることがありました。

まず、普段は見えない仕上げの中を見ることができたことです。例えば、柱や梁には火災時に変形するのを防ぐために、防火被覆材の岩綿を吹き付けてありました。また、柱の代わりにトラスには水系発泡性耐火塗料が塗られていました。これは、熱に反応して発泡し、鉄骨構造の温度上昇を抑えるためのものです。火災から建築物をどのようにして守っているのかを具体的に知ることができてよかったです。完成した時に見えなくなる部分が一番重要なところなのだ改めて感じました。

次に、安全にとっても気を付けていたことです。現場には、安全第一が大きく掲げられていました。そして、現場の中には安全通路が設けられていました。この通路には資材を置いてありませんでした。職人さんが安全に移動できるようにするための工夫がなされていました。また、この時期は、暑いので熱中症に気を付けるよう呼び掛けていました。霧状の水が出る機械が現場に設置されており、スポーツドリンクや塩分の飴が用意されていました。想像以上に安全対策がされていて驚きました。体調の悪い人が無理しな

いようにするためにお互いのことを気かけあえるようなチームワークが必要なのだと思いました。

最後にビス打ちをしました。私は、現場の方に留める部材を支えてもらわないとビスを打つことができませんでした。垂直に力を入れないと手がぶれてしまいとても難しかったです。現場の作業がスムーズに進むように調整し全体に指示を出す現場監督さんの姿がとても輝いて見えました。

今回の経験を心の中に刻み、これからの進路活動に生かし、様々なことに挑戦していきたいと思います。豊蔵組の皆様お世話になりました。

貴重な時間を過ごすことができました

土木科2年 中川 翼  
(受入企業 日本海建設株式会社)

就業体験1日目は、二級河川犀川広域河川改修工事の現場で午前中は水準測量、午後からはトラバース測量をさせて頂きました。水準測量では普段学校だと標尺の数字を読むのに対し、現場では標尺にあるメモリを見て高さを出すということを知りました。午後からのトラバース測量では据え付ける際に下げ振りを使わずに据え付けるというもので普段から下げ振りを使って作業している身としては大変なものでした。

2日目は、橋立漁協と加賀コンで出来形検測をさせて頂いたあと、役所の出来形検査に立ち会わせて頂きました。

3日目は、午前中にコンクリートの配合比率の計算をし、午後から生コンクリートの配合とスランプ試験による強度試験をしました。学校ではまだ習っていない水セメント比を知ることが出来たし、それによってコンクリートの強度に差が生まれることを知りました。

4日目は、海岸での測量補佐と役所による検査の立ち合いをしました。浜辺での据え付けは初めてのもので最初は踏み込みをしっかりとせず水平から気が付いた時にはずれていて据え付け直しの時はそれ以上にしっかりと踏み込みをして据え付けをしました。その後は富山との県境にある太陽光発電所の見学をさせて頂きました。山全体がパネルで埋め尽くされていて凄く大きい規模の場所だと思いました。

この4日間で、今まで知らなかった現場での作業や人との関わり方を知ることが出来る大変貴重な時間を過ごすことが出来ました。日本海建設の皆様ありがとうございました。

とにかく初めての連続でした

土木科2年 石田裕二郎  
(受入企業 株式会社明翫組)

今回の4日間の就業体験学習を終えて私はとてもいい経験ができました。

この4日間はとにかく初めての連続でした。初日の朝、先生と一緒に会社に入る時はとても緊張しました。午前中に会社の事についての色々なお話を聞き、午後から現場に向かいました。これが私の現場デビューでした。

その日行った現場は自分の知っている先輩が担当していたので先輩に会うことも楽しみにしていました。そこでは大きな穴の体積を求める測量のお手伝いをさせて頂きました。1日目で緊張もありとても疲れたことを覚えています。

2日目は朝から山の資材置き場に行って色々な事をさせて頂きました。最初にドローンの操作を教えていただき、今までラジコンも飛ばしたことがありませんでしたが上手くできてよかったです。その後はレベルやトランシットを使った。杭打ちがとても難しかったです。午後からも同じ現場でバリケードを作ったり番線を使って作業したり土嚢を作ることを体験させて頂きました。4日間の中でこの日が一番きつかったのですが、みんな優しく楽しい方達だったのであまり苦ではありませんでした。

3日目は犀川の現場を見学した後に水準測量をしました。水準測量をした距離は学校でも経験できないくらい長い距離でした。誤差がとても大きかったので恥ずかしかったです。これからしっかりと練習をしないといけないと思いました。

4日目の最終日は、杭ナビという機械の使い方やドローンを使った写真撮影をしました。

この4日間私たちに優しく接してくれて色々な事を教えてくれた明翫組の皆さんありがとうございました。

## 地区協会コーナー

### 手取川七ヶ用水ボランティア 「世界かんがい施設遺産を学ぶヒストリーツアー」に協力

(一社)白山野々市建設業協会

平成12年度より、手取川七ヶ用水の多面的機能（生活用水、産業用水等）を地域住民に周知する目的で、七ヶ用水地区管理体制整備推進協議会が主催で「七ヶ用水清掃ボランティア」を開催しております。

当協会では地域貢献活動の一環として、当管内で行われる場合に、農林委員会が主体となって協力してまいりました。

今年度は、平成30年10月20日(土)に「世界かんがい施設遺産を学ぶヒストリーツアー ～水のトンネルを歩こう～」をテーマに、平成26年度に世界かんがい施設遺産に登録された七ヶ用水の源となる大水門・隧道・給水口の見学会が開催されました。

当日は、大人46人、子供16人が参加して、ふだん見ることのできないトンネルや大水門等を見学しました。

当協会の農林委員会が、前日の10月19日(金)に仮設階段2箇所とテント2張を設置し、竹ぼうきで公園の遊歩道を清掃しました。また、当日は、参加者の安全監視にあたり、終了後に撤去作業を行いました。(2日間でのべ32人の会員が協力)



七ヶ用水大水門



明治36年七ヶ用水取水口（現在に至る）



白山管理センターで開会式



給水口を見学



#### 【七ヶ用水のあらまし】

七ヶ用水の誕生は、江戸時代末期に枝権兵衛、小山良左衛門によって、七ヶ用水の源流であった富樫用水の取水口をトンネルを掘って取水するというもので、明治2年に完成した。

その後、明治31年に七つの用水を合併する「明治の大改修」に着手し、明治36年に完成し現在に至る。



昇降用仮設階段設置

## 会員リレーコーナー

181 株式会社 松陽建設  
 (所在地：白山市上柏野町177番地)



株式会社 松陽建設

社 章

弊社は、先代が生まれ育った白山市(旧松任市)上柏野町に所在しています。

昭和54年1月に創業以来、昭和56年6月に(有)松陽建設工業、平成3年8月に(株)松陽建設に社名変更を行い、現在に至っております。

石川土木・石川農林・白山市等、公共工事を主として一般土木全般を請負っております。

私自身、隣の富山県出身であり、石川県に越してきてまだ4年余りしか経っており、右も左もわからないよそ者にもかかわらず、県建設業協会、白山野々市建設業協会、白山市商工会議所の会員の皆様、そして地域住民の皆様のご厚情・ご鞭撻のおかげで今日がある次第であります。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

一般土木工事は、建築工事と違って、一個人の為の構造物ではなく、不特定多数・地域住民の為の構造物がほとんどで、工事の特性上、近隣他地域住民のご理解・ご協力が不可欠です。又、環境保全・法規制遵守のうえでの施工であり、関係省



社 屋

庁への届出も必要であります。これらを踏まえ、事前準備・施工計画を綿密に行い、監督員の承諾のもとに施工し、顧客満足を得られるよう努力しております。

弊社は、品質・環境とも『ISO』を取得しており、工事成績評定点の80点以上維持をメイン目標として各工事担当者が頑張っております。

昨今、どの業界においても、働き方改革・担い手確保と話題になっておりますが、弊社においても例外ではございません。従業員の高齢化が進む一方、土木技術者の希望者がおらず、求人を出していても問合せすらない状態で、日々頭を悩ませている状態です。協力業者を充実させ、より良い職場環境を確立し、従業員そしてその家族の皆様が安心して生活できる会社を作っていきたいと思っております。

状況に応じた柔軟な思考力を身につけ、「人との繋がり」「地域との繋がり」を大切に、信用・信頼のできる会社になるよう、一人一人が責任を持って職務を遂行し、無事故で工事を完成させ、顧客に引渡せるよう努力していきます。

最後になりますが、まだまだ石川県・白山市のことは、解らないことばかりですが、「聞く」ことを恥じず、行事・会合等に積極的に参加し、少しでも業界の発展に貢献できるよう頑張りますので、これからもよろしくお願いたします。

次回は(株)北陸工建 代表取締役 西田 勲さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願いたします。

(株式会社 松陽建設 代表取締役 齋藤秀明)



ISO9001:2015 認証取得  
 ISO14001:2015 認証取得

# 今月の「輝き！」さん

No. 46



## 真柄建設株式会社 北村翔吾さん

業 種：現場監督  
 経験年数：2年9カ月  
 年 齢：25歳

能美市吉原釜屋の現場事務所に今月の輝きさん北村翔吾さんを訪ねました。

- 最初にあなたの会社について教えてください。  
 私が勤務する真柄建設株式会社は、1943年6月に設立され、建設事業、リニューアル事業、総合エネルギー事業等を手掛ける総合建設会社で、金沢市彦三町に本社を置き、北陸、東京、大阪の三つの事業部と全国に4か所、県内に3か所の営業所があります。私は、北陸建築事業部の建築工事部工事課に所属しています。

- ここはどんな現場ですか？  
 この現場は、プレス機械製造メーカーの新しい工場を建設しています。私は、昨年の7月からここで先輩方と共に現場管理を担当しています。

- あなたの経歴、この会社への入社動機について教えてください。  
 私は、金沢市の森本で生まれ、地元の小・中・高校を経て、金沢工業大学建築デザイン学科を卒業しました。実家で両親と暮らしています。叔父が建築の仕事をしていて興味がありました。幼いころから住宅建築等ものづくりに興味がありました。それで、大学も建築関係の学科を選びました。今の会社は、地元の手前建設会社で自分が学んできたことを十分に生かせる会社だと思ったので入社を決めました。

- 仕事で心に残ったこと、苦労したことはありますか？

入社して日が浅く、この現場が三か所目です。特別心に残ったことや苦労したことはまだありません。ただ、現場では、関係者の方々とのコミュニケーションを上手に図り、工程どおりにかつ安全に作業が進むよう配慮することが自分たちの役割であると思っています。また、そこが一番苦労する所でもあると思います。これから様々な現場を経験することになりますが、上司や先輩方を見習って一日も早く一人前になりたいと思います。

- この仕事を選んで良かったと思うこと、やりがいを感じることは？

工事現場には、協力会社の方々をはじめ多くの人が入り出しています。その方々としっかり連携をとって一つの物件を完成させる訳ですが、そういうところにやりがいを感じますし、この仕事を選んでよかったと思います。また、現場を通じて多くの方と接することで得られる人脈は自分にとって大きな財産になると思っています。

- 趣味、スポーツ、休日の過ごし方は？

甲子園には縁がありませんでしたが、小・中・高校では野球をしていました。今は、特に体を動かすことはしていません。趣味と言えるものもありませんが、強いて言えば車が好きです。大学時代の友人が近隣の県に多く住んでいるので、休日は、ドライブを兼ねて友人宅を訪ね歩いていきます。

- 最後に将来の夢、目標は？

当面の目標は、仕事に必要な各種資格を取ることです。そして、大きな現場を任せて貰えるような現場代理人になりたいと思います。また、将来的には結婚して幸せな家庭を築きたいと思っています。もちろん、マイホームは私が設計したいと思っています。

HELL OF FIVE  
 FIVE STAR

## けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

## 協会だより

## (一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催

(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合の理事会が12月19日(水)午後1時45分から金沢ニューグランドホテルにおいて開催された。

冒頭、吉光武志会長は、「今年は、全国的に自然災害が多発し国では被災地の復旧に続く第2次補正に向けた準備が進んでいる。県内でも能登を中心とした豪雨災害の復旧費など投資的経費の合計は前年比10%増となっており今後の発注に期待したい。」と挨拶した。

続いて、来年7月の参議院議員選挙について、県協会と9地区協会が一致結束して現職の山田修路議員を推薦する案が満場一致で承認され、山田議員に推薦状

が手渡された。山田議員は、「推薦頂いたことをしっかり受け止め、引き続き地域経済発展のために努力したい。」と挨拶した。

続いて、石川労働局労働基準部長篠山賢一氏から「働き方改革について」と題して講演を頂いた後、30年秋の褒章で黄綬褒章を受章された澤田 勉前理事に役員一同による金杯が贈呈された。

引き続き理事会では、事務局から(1)平成30年度事業執行状況について(2)建設業をめぐる最近の話題等について(3)今後の主な日程について(4)会員受注高について(5)その他について報告がなされ了承された。

引き続き、石川県総合建設業協同組合理事会では、事務局から(1)いしけんeコマースネット事業の廃止について(2)平成30年度中間事業報告について報告がなされ了承された。



会場風景



山田議員に対する推薦状交付



澤田前理事への金杯贈呈



## 災害支援功労者感謝状贈呈式（北陸地方整備局）

北陸地方整備局の災害支援功労者感謝状贈呈式が12月19日(水)に新潟市の同局で行われ、平成30年北海道胆振東部地震において、被災地支援活動に尽力したとして、(一社)石川県建設業協会の会員企業である(株)丸西組と中島建設(株)の2社に北陸地方整備局長より感謝状贈呈が行われた。

式典では吉岡局長が同功労者一人ひとりに感謝状を手渡した後、「優れた技術力、機動力は北陸にとって大きな財産」と謝意を表した。



(株)丸西組



中島建設(株)

## 委員会の開催

### 土木委員会

#### 工事現地検討会班長会議（後期）の開催

土木委員会安全対策部会（部会長 林 登良夫）は、12月7日(金)にKKRホテル金沢において、「工事現地検討会班長会議（後期）」を開催した。会議には、安全対策正副部会長及び班長と、アドバイザーとして土木委員会正副委員長が出席した。

会議では、11月6日(火)と11月8日(木)の2日間にかけて11箇所の工事現場で行われた「工事現地検討会」で、参加者（発注者、設計コンサルタント、土木委員会委員、工事関係者など）から出された設計施工の疑問点や、積算上の課題、仮設計画の考え方、安全管理などの発言内容について、各班長から報告がなされた。これらの報告内容について意見交換が行われ、特に改善を必要とするような課題・問題点などは県土木部へ要望していくこととした。また、次年度以降の工事現地検討会の実施に向けた取り組み等について意見交換が行われ、散会した。



#### 第3回役員会の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、12月18日(火)に石川県建設総合センター会議室において、役員会を開催した。

この会議は、2月1日(金)に開催を予定している「金沢河川国道事務所との意見交換会」の議題を選定す

るために、土木委員会会員企業から12月中旬までに寄せられた「直轄工事等に関する意見要望」を入札契約関係や総合評価関係、設計積算関係、施工計画関係、監督検査関係、改正品確法等の項目毎に審議し、課題抽出を行った。この結果を受け、後日、正副委員長会議を開催して意見交換会の提案議題を最終選定することを確認し、散会した。



## 建築委員会

### 金沢地区安全パトロールの開催

安全部会（部会長 連 友也）は、12月21日（金）に、金沢城公園整備（鼠多門）工事の工事現場にて、建築委員会員17名と（一社）金沢建設業協会の地区協会員3名、計20名の参加にて現場安全パトロールを行った。



鼠多門の現場では県営繕課の熊田康也課長の挨拶後、牧島史人専門員からこの門は藩主の隠居所等であった金谷出丸（現尾山神社）と玉泉院丸をつなぐ部分に設置されていること、この門と鼠多門橋が完成すると長町武家屋敷から金沢城、兼六園とつながる観光客の新たな動線ができること、城内の他の城門と同じく屋根は鉛瓦で葺かれるが外壁の海鼠壁の目地は黒漆喰が用いられることなどの説明があった。

その後、現場代理人の津田幸大氏から文化庁指定の史跡の中の工事であり、地中の埋設物を乱してはならず、素屋根を造る際も掘削して基礎を設けることは出来ず巨大なコンクリートブロック塊でワイヤーを張り台風等による転倒防止を図っていること、積雪が下の市道に落下しないように素屋根端部に張り出しを設けること、一般の人が伝統工法に理解を深めるための見学台及びスロープが設けられることなどの説明を受けた。

現場は地下の門部分の建て方が終わり巨大な鏡柱、鏡梁が豪快に組み立てられているところを見学できた。今後地上部分の2階建て櫓門が建設されることになる。

工期は2020年12月までであるが、東京オリンピックの開催に間に合うよう工期の短縮を要請されていることも明らかにされた。

北陸の冬には珍しい好天に恵まれた安全パトロールとなった。

## 土地改良委員会

### 石川県農林総合事務所への施策提案

土地改良委員会（委員長 真柄卓司）は、先月（11月）の北陸農政局長、石川県農林水産部長等への施策提案に引き続き12月3日（月）6日（木）に米田保宏南加賀農林総合事務所長、美作多加志石川農林総合事務所長、梅田清彰県央農林総合事務所長へ「農業農村整備事業の推進に関する提案書」を手渡し、来年度の事業展開に必要な予算編成を求めるとともに、持続的かつ安定的な公共事業の予算確保などを要望した。

要望事項は先月の北陸農政局長、石川県農林水産部長等への施策提案と同様の

1. 農業農村整備事業予算の持続的かつ安定的確保

## 2. 受注機会の確保について

## 3. 改正品確運用指針の徹底と労働環境改善の推進

の3点で、各農林総合事務所長及び事務所幹部の方々に対し要望を行い、事務所における提案内容の取り組み状況や方針等について意見交換を行った。



南加賀農林総合事務所長への提案



石川農林総合事務所長への提案



県央農林総合事務所長への提案

## 建設青年委員会

### 全国建設青年会議第23回全国大会への参加

12月4日(火)午後2時より全国建設青年会議第23回全国大会が東北建設青年会議の主催により経団連会館にて開催された。来賓には石井啓一国土交通大臣、佐藤信秋、足立敏之参議院議員、国土交通省並びに各地方整備局調整官等23名、また全国建設青年委員525名の出席があった。北陸ブロックからは45名、石川県からは北川委員長をはじめ16名が参加した。



開会にあたり、幹事ブロックを代表して、東北建設業青年会の渡辺大輔会長より挨拶があり、来賓を代表し石井啓一国土交通大臣の祝辞をいただき、その後下記のスケジュールで執り行われた。

- ・特別講演 演題「i-Constructionの深化と働き方改革の推進」  
講師 国土交通省大臣官房技術審議官 五道 仁実 氏

- ・基調講演 演題「地域建設業の使命と伝承」  
講師 政策研究大学院大学客員教授 徳山日出男 氏

- ・パネルディスカッション

テーマ「東日本大震災を風化せず語り継ぐ」～地域建設業の果たした役割  
「社会資本整備の重要性」

コーディネーター	京都大学大学院工学研究科教授	藤井 聡 氏
パネリスト	政策研究大学院大学客員教授	徳山日出男 氏
	株式会社経世論研究所所長	三橋 貴明 氏
	宮城県南三陸ホテル観洋女将	阿部 憲子 氏
	東北建設業青年会会長	渡辺 大輔 氏

- ・大会宣言

## 石川県土木施工管理技士会だより

### 第2回役員会の開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、平成30年度の第2回役員会を12月12日(水)に開催した。会議は、下記の議事内容について審議・確認・説明を行った。

#### < 審議事項 >

平成30年度(一社)全国土木施工管理技士会連合会表彰推薦について

- ・表彰基準に基づき、表彰該当者の中から石川県土木施工管理技士会の推薦者の決定を行った。

北陸地方整備局と三県技士会との意見交換会提案議題について

- ・平成31年2月26日(火)開催の北陸地方整備局と北陸三県技士会(石川・富山・新潟)との意見交換会の提案議題について、12月末までに役員から提出することを確認した。

平成30年度の活動実施報告及び今後の予定について

- ・事業活動状況、今後の予定について内容を確認した。
- ・収入及び支出内容の確認を行い、適正であることを確認した。

情報提供

- ・12月7日(金)に開催された「国土交通省と(一社)全国土木施工管理技士会連合会との意見交換会」の内容などについて説明を行った。

## 不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度  
自動車保険

お問い合わせは・・・・・・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

# 業界時報

## 労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成30年分）

平成30年11月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	6	(16)39	20	(16)65	(9)63	637
小松監督署	13	(6)14		(6)27	(5)18	253
七尾監督署	4	(5)7	9	(5)20	(4)18	113
穴水監督署	2	(8)11		(8)13	(5)14	63
計	25	(35)71	29	(35)125	(23)113	1,066
前年同期	23	(23)63	27	(23)113		925

( )内は木建工事 内は死亡者数

## 平成30年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
9月分	232	369	62.9%	3,316	3,213	103.2%	3,548	3,582	99.1%
10月分	403	193	208.8%	2,405	2,183	110.2%	2,808	2,376	118.2%
11月分	186	108	172.2%	1,362	1,210	112.6%	1,548	1,318	117.5%
年度累計	2,405	3,253	73.9%	18,769	21,945	85.5%	21,174	25,198	84.0%
28年度累計		3,459	69.5%		16,587	113.2%		20,046	105.6%
27年度累計		2,362	101.8%		21,302	88.1%		23,664	89.5%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
9月分	5,066	5,259	96.3%	2,871	999	287.4%	7,937	6,258	126.8%
10月分	5,034	4,857	103.6%	773	2,039	37.9%	5,807	6,896	84.2%
11月分	2,836	3,910	72.5%	450	5,219	8.6%	3,286	9,129	36.0%
年度累計	28,955	27,331	105.9%	8,389	13,643	61.5%	37,344	40,974	91.1%
28年度累計		35,347	81.9%		10,355	81.0%		45,702	81.7%
27年度累計		30,796	94.0%		12,407	67.6%		43,203	86.4%

合 計（民間 + 官公庁）

	30年度	29年度	%
9月分	11,485	9,840	116.7%
10月分	8,615	9,272	92.9%
11月分	4,834	10,447	46.3%

	30年度	29年度	%
年度累計	58,518	66,172	88.4%
28年度累計		65,748	89.0%
27年度累計		66,867	87.5%

# 最低賃金改正のお知らせ

石川県内の事業所に適用される最低賃金は、次のとおり改正されています。  
最低賃金より低い賃金で労働者を使用することはできません。

地域別最低賃金（県内の全ての労働者に適用されます。）

	時間額	改正発効日
<b>石川県最低賃金</b>	<b>806円</b>	H30.10.1

特定(産業別)最低賃金

主要な適用業種	時間額	改正発効日
石川県金属素形材製品、ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等、その他の金属製品、はん用機械器具、生産用機械器具、発電用・送電用・配電用電気機械器具、産業用電気機械器具製造業最低賃金	900円	H30.12.31
石川県自動車・同附属品、自転車・同部分品製造業最低賃金	900円	H30.12.31
石川県電子部品・デバイス・電子回路、民生用電気機械器具、電子応用装置、情報通信機械器具製造業最低賃金	847円	H30.12.31
石川県百貨店、総合スーパー最低賃金	840円	H30.12.31

詳細は石川労働局労働基準部賃金室(TEL 076-265-4425)又は最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

また、石川労働局のホームページ

<http://jsite.mhlw.go.jp/ishikawa-roudoukyoku/> もご覧ください。

## 会員消息

今回届け出があったのは次の1件でした。

### 変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	住所	住所	
(株)北陸工建	〒921 8043 金沢市西泉5丁目4	〒921 8044 金沢市米泉町7-23-2	平成30年12月3日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

## 県協会からのお知らせ

### 平成31年1月行事予定

- 1月 2日(水) パークアンドドライブ AM7:30~PM19:30(1~3日)  
谷本知事新年互礼会  
(金沢ニューグランドホテル)
- 4日(金) 仕事始め  
経済3団体新年互礼会  
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 10日(木) 土木委員会正副委員長会議・PM挨拶廻り
- 11日(金) 正副会長会議  
建災防 安全祈願祭・新年会 (尾山神社)  
小松能美建設業協会 新年会  
(ホテルサンルート小松)
- 15日(火) 建築設計等関連7団体合同新年互礼会  
(ホテル日航金沢)
- 17日(木) 会報編集委員会
- 18日(金) 全国建産連 理事会・協議会  
(東京 東海大学校友館)
- 21日(月) 広報・研修委員会 全体会議 (ホテル日航金沢)  
創立70周年記念講演会・新年祝賀会  
(ホテル日航金沢)
- 22日(火) 事務担当者説明会 (河北郡市土建協同組合)
- 23日(水) 事務担当者説明会 (珠洲建設業協会)  
事務担当者説明会 (鳳輪建設業協会)  
第19回社会資本整備セミナー  
(石川県勤労者福祉文化会館)
- 24日(木) 事務担当者説明会 (七尾鹿島建設業協会)  
事務担当者説明会 (羽咋都市建設業協会)
- 25日(金) 事務担当者説明会  
事務担当者説明会 (白山野々市建設業協会)  
土木委員会 新年会 (粟津温泉のとや)
- 26日(土) はせ浩 新春国政報告会 (ホテル日航金沢)  
JIA北陸支部30周年記念式典・懇親会  
(金沢21世紀美術館)
- 28日(月) 事務担当者説明会 (加賀建設業協会)  
事務担当者説明会 (小松能美建設業協会)  
暴排責任者講習(石川県地場産業振興センター)
- 29日(火) 土地改良委員会 第2回技術検討部会  
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会  
(富山河川国道事務所)

- 29日(火) 青年委員会 青年部新春講演会  
(富山 ホテルグランテラス富山)
- 30日(水) 事務局打合せ

### 平成31年2月以降の行事予定

- 2月 1日(金) 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会  
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 3日(日) 公明党「新春政経懇話会」 (ホテル日航金沢)
- 4日(月) 正副会長会議  
常任理事会
- 6日(水) 中金会懇談会〔商工中金〕 (ホテル日航金沢)  
新春講演会・新年祝賀会及び懇親会〔商工中金〕  
(ホテル日航金沢)
- 7日(木) 北陸地方整備局との意見交換会
- 9日(土) 高校生富士教育訓練センター派遣事業(～16日)
- 12日(火) 第2回北陸インフラメンテナンスフォーラム  
(金沢河川国道事務所)  
建設青年委員会石川県との意見交換会  
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 13日(水) 石川県景観審議会 (石川県庁)
- 14日(木) 石川県建設業社会保険加入推進会議  
(石川県地場産業振興センター)  
働き方改革及び事業継承に関する説明会  
(石川県地場産業振興センター)
- 15日(金) 小松商工会議所 建設部会 (小六庵)
- 20日(水) 土地改良委員会技術検討部会 農林水産部との  
意見交換会 (金沢ニューグランドホテル)  
建築委員会 研修会(～24日)
- 22日(金) 建設キャリアアップシステムに関する実務担当  
者向け全国集合研修会(東京 建設業振興基金)
- 25日(月) 石川県産業教育振興会理事会  
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 26日(火) 東日本保証 取締役会 (東京 本社ビル)  
税財務講習会  
北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会  
(新潟 東映ホテル)
- 27日(水) ICT活用工事報告会
- 3月 4日(月) 正副会長会議  
全国建産連 総務委員会

- 3月 6日(水) 全国建産連 専門工事業委員会  
 全建 経営委員会 (東京 東京建設会館)  
 土木委員会 研修会(～10日)
- 7日(木) 全建 労働委員会 (東京 東京建設会館)  
 産業廃棄物講習
- 14日(木) 三県協会事務局会議 (富山市内)
- 18日(月) 全建 協議員会
- 20日(水) 土地改良委員会 全体会議  
 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 26日(火) 全建 専務・事務局長会議

### 「協会報」への随筆等投稿(お願い)

随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)  
 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)  
 協会報の発行 毎月1日発行  
 (毎月10日前後納入、会員送付)  
 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、  
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

## 地区協会からのお知らせ

### (一社)金沢建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月 8日(火) 青年：デザインアワード表彰式  
 15日(火) テレビ講座  
 新年挨拶回り
- 18日(金) 青年：情報発信セクション  
 23日(水) 青年：市工課題研究発表会(土木科)  
 24日(木) 協会・組合 合同新年会  
 29日(火) 土木：運営委員会  
 30日(水) 青年：幹事会

### (一社)加賀建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月23日(水) 協会・組合 新年互礼会  
 28日(月) 事務担当者説明会

### (一社)小松能美建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月11日(金) 平成31年新年会  
 17日(木) キャリア教育(板津中学校)  
 18日(金) 監理技術者講習  
 28日(月) 事務担当者説明会

### (一社)白山野々市建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月15日(火) 理事会、新年互礼会

### 河北郡市土建協同組合

#### 《行事予定》

- 1月22日(火) 事務担当者説明会

### (一社)羽咋郡市建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月24日(木) 事務担当者説明会  
 25日(金) 協会・資材組合 合同新年会

#### 《お知らせ》

- 3月 5日(火) 監理技術者講習会

### (一社)七尾鹿島建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月 8日(火) 新年挨拶回り  
 11日(金) 新年会

#### 《お知らせ》

- 2月 6日(水) 監理技術者講習会

### (一社)鳳輪建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月16日(水) 監理技術者講習会  
 18日(金) 新年会  
 23日(水) 事務担当者説明会

#### 《お知らせ》

- 2月 6日(水) 正副会長会議、理事会

### (一社)珠洲建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月 9日(水) 官庁新年挨拶回り(～10日)  
 18日(金) 理事会  
 働き方改革説明会  
 珠洲建設業協会・珠洲建設業協同組合 合同  
 新年会



## 関係機関からのお知らせ

国土建第351号

平成30年12月26日

建設業者団体の長 殿

国土交通省土地・建設産業局建設業課長

### 解体工事の追加に伴う経過措置終了時において解体工事を行う とび・土工工事業者の取扱いについて（通知）

平成26年6月4日付けで公布された建設業法等の一部を改正する法律（平成26年法律第55号。以下「改正法」という。）のうち、許可に係る業種区分の見直しに関する改正規定は、平成28年6月1日に施行され、改正法附則第3条第1項の規定により、平成28年6月1日時点でとび・土工工事業に係る許可を受けている者であって、解体工事業に該当する営業を営んでいるもの（以下「経過措置とび・土工工事業者」という。）については、平成31年5月31日までの間に限り、解体工事業に係る許可を受けなくても引き続き当該営業を営むことができることとされました。今般、経過措置終了時点で経過措置とび・土工工事業者が解体工事を行っている場合の経過措置終了後の取扱いについて、下記のとおり明確化したので通知します。貴団体におかれては、貴団体傘下の建設業者に対し、本通知の内容について周知徹底が図られますよう指導をお願いします。

#### 記

解体工事を行う経過措置とび・土工工事業者が、平成31年5月31日までに解体工事業に係る許可を受けずに同年6月1日以降も引き続き解体工事を行う場合、同日以降、当該経過措置とび・土工工事業者は建設業法（昭和24年法律第100号）第3条第1項の許可を受けていない者となることを踏まえ、当該業者は経過措置終了時まで速やかに解体工事業に係る許可を受けること。なお、経過措置期間内に解体工事業に係る許可申請をした経過措置とび・土工工事業者については、経過措置期間の経過後、申請に対する許可又は不許可の処分があるまでの間は、解体工事業に係る許可を受けなくても引き続き当該営業を営むことができる。